

三重大学の環境教育への取り組み

< 内容 >

1. 三重大学 地球環境センター 紹介
2. EGC学生委員会について紹介
3. MIEUポイントについて紹介
4. SciLets育成事業 – 「オンデマンドビデオ講義」
5. 学生向け環境教育, 内部監査員研修について紹介

2026年6月12日

地球環境戦略研究機関(IGES) 東京サステイナビリティフォーラム(東京都港区西新橋1-14-2 新橋SYビル4F)

三重大学 特命副学長 環境担当
三重大学 地球環境センター センター長

教授 丸山 直樹

三重大学について紹介



三重大学 上浜キャンパス (栗真町屋町)

[三重大学概要]

- ・学部・研究科等 : 5学部 6学科 1課程 6研究科
- ・学生数 : 学部学生 5,988名 大学院生 1,190名
- ・附属図書館蔵書数 : 919,148冊
- ・附属病院病床数 : 685床
- ・土地面積 : 5,509,850㎡
- ・建物面積 : 323,798㎡

国立大学の中では、多い方です(36番目)

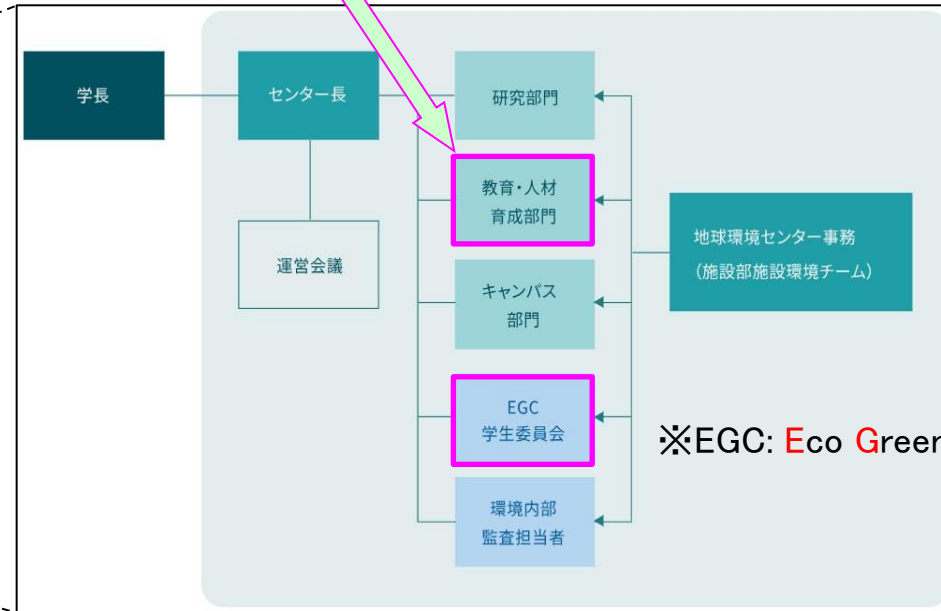
※ 三重大学 年次報告書 2025 より

環境先進大学 三重大学

三重大学地球環境センター



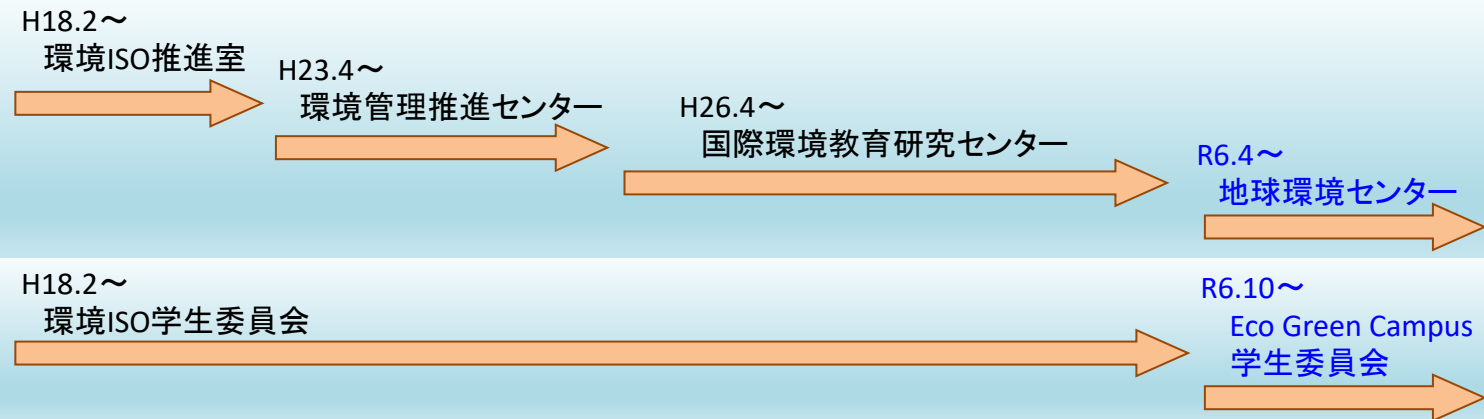
- 科学的地域環境人材育成事業サイレッツ SciLets (Scientific, Local and Environmental "Talented Staff")
- 共通教育授業 全学部新生必修「科学的地域環境概論」



地球環境センター組織体制

○地球環境センターの主な業務

- ・ EMS (Environmental Management System) に関する業務
- ・ 環境報告書に関する業務
- ・ 教育・人材育成に関する業務 (SciLets, 他)
- ・ 環境研究に関する業務
- ・ 地域連携に関する業務 (EGC学生委員会, 他)
- ・ MIEUポイントに関する業務
- ・ CRIS薬品管理に関する業務



当委員会は、平成18年2月21日に「MIEキャンパス宣言」を掲げ、**学生の環境マインド向上を活動理念**として発足しました。**学生目線の活動を学内・学外**で行っており、**3Rと緑化、地域連携活動**に大別されます。

2024年10月、本学がISO14001を返上したことに伴い、名称を**Eco Green Campus学生委員会**に変更いたしました。

～主な活動～

地域連携部

地域の方々と関わりながら環境活動を行う班

地域住民や企業の方々と連携して、大学近隣の海岸を清掃しています。
また、地元の小学校へ出向き環境学習を行っています。



3R班

3Rに基づいて環境活動を行う班

学内の資源の循環や有効活用を目指して、古本や家具家電のリユースイベントを開催したり、エコキャップや古紙などの資源の回収を行っています。



執行部

委員会の代表として学内外の窓口となる中心組織

主に2年生が中心となり、委員会全体で参加する環境イベントや大学祭などの企画・運営を行っています。



環境保全や持続可能な社会の実現を目指す学生主体の組織

委員会生56名で4部班に分かれて活動中

緑化班

大学内を緑豊かにするために緑化活動を行う班

緑のカーテン、花壇の整備、学内で集めた落ち葉を活用した堆肥づくりを行い、緑豊かなキャンパスづくりに取り組んでいます。



公式HP



EGC Eco Green Campus
学生委員会 未来を守る、いまを動かす
学生がつながる持続可能な社会

About us

三重大学Eco Green Campus学生委員会（以下、EGC学生委員会という）は、環境保全や持続可能な社会の実現を目指す学生主体の組織です。
私たちは、環境マネジメントシステムに基づき、キャンパス内外でさまざまな環境活動を行い、持続可能な未来に向けた取り組みを進めています。
学生が主体的に活動することで、専攻に対する理解を深め、実践にアクションを起こすことができるのが私たちの特徴です。自然環境の保全はもちろん、エネルギーの効率的な活用、リサイクル活動、さらには地域や他大学との連携を通じてSDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けたプロジェクトを進めています。
私たちは、学内のエコ活動の推進や、地域社会に向けた環境イベントの企画・運営を行うことで、大学と地域社会の持続可能な発展に貢献しています。環境問題を意識しながら、私たち自身の成長も促していく。それがEGC学生委員会の使命です。

Instagram



iso_iinkai :

三重大学 環境EGC学生委員会

フォロワー213人・フォロー中86人

三重大学環境EGC学生委員会の公式アカウントです。
様々な企画を学生主体で運営しています。
こちらでは私たちの活動について随時更新しています。
DM・コメントの返信はできません
お問い合わせ等はこちらに→query@gecer.mie-u...



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

三重大学 環境・SDGs報告書2025

3 環境・SDGsコミュニケーション

三重大学環境・SDGs学生プラットフォーム



Eco Green Campus学生委員会



三重大学の環境報告書にも活動報告を寄稿しています。

<執行部>

環境デーなごや

環境デーなごやは、環境について考えるきっかけを提供する、名古屋市最大級の環境イベントで、環境問題に取り組むさまざまな団体がブースを出展しています。当委員会は、**活動内容の展示とエコすごろくの体験を実施しました。**



つ・環境フェスタ

つ・環境フェスタは、環境に対する取り組みが広がることを目指し、津市と有志の市民によって開催されるイベントです。

当委員会は、**日頃の活動を紹介する展示と、環境問題について学べる神経衰弱やエコすごろくの体験を実施しました。**



<3R活動>

古本市

古本市は、学内に設置した古本回収BOXで回収した本を**無償で学生や教職員に譲渡するリユースイベント**です。



リユースプラザ

家具や家電の不法投棄防止・資源の有効活用を目的に、卒業生から不要となった家具や家電を回収し、動作確認や清掃を行った後、**新入生や留学生に無償で譲渡**しています。



ペットボトルキャップ回収

学内でペットボトルキャップを集め、業者に譲渡します。回収されたキャップはリサイクルされて洗濯用ピンチなどに生まれ変わります。さらには、**リサイクルで得られた利益が途上国へ贈るワクチンの購入資金に充てられます。**



<緑化活動>

グリーンカーテン

毎年、**緑化活動の一環**として、環境・情報科学館前のプランターで行っている取り組みです。夏場の室温低下および景観美化を目的として行っています。



学内花壇の整備

景観美化や温室効果ガスの吸収を目的として学内花壇で四季の花を植えたり、作物を栽培したりしています。



落ち葉コンポスト

大学内の構内の落ち葉を堆肥化して**緑化活動の肥料として活用**しています。



<地域連携活動>

町屋海岸清掃

本学の東側にある**町屋海岸の清掃**をNPO法人町屋百人衆の方々と**共同で年に4回実施**しています。「裸足で走れる町屋海岸」を目指して、毎回100名ほどの地域の方々や三重大学生・教職員に協力していただき、年代や立場を超えた様々な人とのつながりを大切にしながら活動を行っています。



環境学習

本学近くの**小学校で環境に関する出前授業を実施**しています。授業内容は再生可能エネルギーや外来種などを扱い、クイズやゲームの要素も取り入れながら環境問題を身近な問題として捉えてもらえるような授業を目指して取り組んでいます。

再生可能(さいせいかのう)エネルギーってなんだろう？

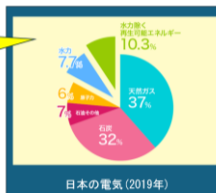


・再生可能エネルギーとは…くり返し利用できるエネルギーのこと。一度利用しても、ひか約の短い期間で再生することができる。

日本の状況(じょうきょう)

再エネの割合は10.3%

発電量が安定しない
発電に必要なコストが高い
→再エネがあまり増えていない



みんなの生活を守るためには、増やしていく必要がある！

MIEUポイントについて紹介

目的と要点

1. 学生と教職員が、学内で環境活動を実施することで、三重大の環境改善へ結び付ける。
2. 個々の活動が継続して実施出来るように、学内共通した「個人の努力」を「見える化」する環境ポイント付与制度を創設。
3. パソコン、スマートフォン等を利用して、ポイント付与に伴う行動の制約を取り除く。
4. 活動ポイントは、個人のみならず、大学全体の環境活動の成果としても評価できるようにポイント集計。
5. 活動内容に応じてポイントを付与して、獲得ポイントに応じて景品と交換することで活動のインセンティブとする。



色んな活動をポイント化

環境学習

ON/OFF
 <<室温>>
 暖房 19℃ 冷房 28℃
 空調・照明を消す

3 R
 REDUCE
 REUSE
 RECYCLE

整理票

環境内部監査

海岸清掃

緑化活動

地球環境センター

承認処理・交換受付

環境意識の向上
MIEUポイント

ポイント交換対象景品

MIEUポイント
登録・活動申請は、こちらから
(サイトのご利用は、学内者限定)

1520 三重大大学 マフラータオル	1500 三重大大学 バウムクーヘン	1000 USBメモリー8GB 他
500 折りたたみ傘 他	300 三重大大学カレー 他	100 シャープペンシル 他

環境改善活動へのインセンティブ

三重大大学前
 正門
 新正門
 本部管理棟
 総合研究棟II
 三翠会館
 薬明会館
 教育学部校舎
 生物資源学部校舎

23

ココ

本部管理棟4階施設環境チーム(地球環境センター)

MIEUポイントについて紹介

MIEUポイント付与活動及びポイント数

活動項目	ポイント数
(1) 地球環境センター開講のESD・環境教育関連科目の履修・受講	
地球環境センター開講のESD・環境教育関連科目	10
(2) 環境学習	
環境ISO学生委員会が実施する環境学習の企画及び参加	100
(3) 3R活動	
環境ISO学生委員会が実施する古本のリサイクル活動に本を提供	10
環境ISO学生委員会が実施するリサイクル活動に自転車・家電製品・OA機器を提供	20
三重大学リサイクルシステムの利用（教職員限定）	20
(4) リ・リパックの回収協力	
リ・リパックの回収協力	10
(5) 学内の室内照明・エアコンの節電活動	
	室内人数
	10以下 11~50 51~100 101以上
照明の全面消灯	11 13 15 19
照明の部分消灯	10 11 13 14
エアコンのスイッチオフ 冬季限定 対象期間:12月-2月	18 30 50 74
(6) 学内の省エネルギー活動	
エレベータを使わない	1
パソコンのシャットダウン(職員限定)	5
パソコンのモニターの電源オフ(職員限定)	3
(7) 学内の清掃活動	
キャンパスクリーンデーに参加	50
自主的なキャンパス清掃の実施	10

(8) 学内の緑化活動	
学内緑化(樹木及び花卉の手入れ) (学生限定)	20
(9) ノーマイカー通勤の実施	
ノーマイカーの実行	20
(10) 環境内部監査	
内部監査養成セミナーに参加	50
被監査部門担当者として対応	50
内部監査リーダーとして実施	100
内部監査員として実施	50
(11) 海岸清掃イベントに参加	
町屋海岸清掃	200
(12) 学内のアンケート等への協力	
学内のアンケートへの協力 学内の研修会・講演会の企画及び参加 学内の意見の募集 学内のイベントの企画及び開催準備への参加	上限10,000

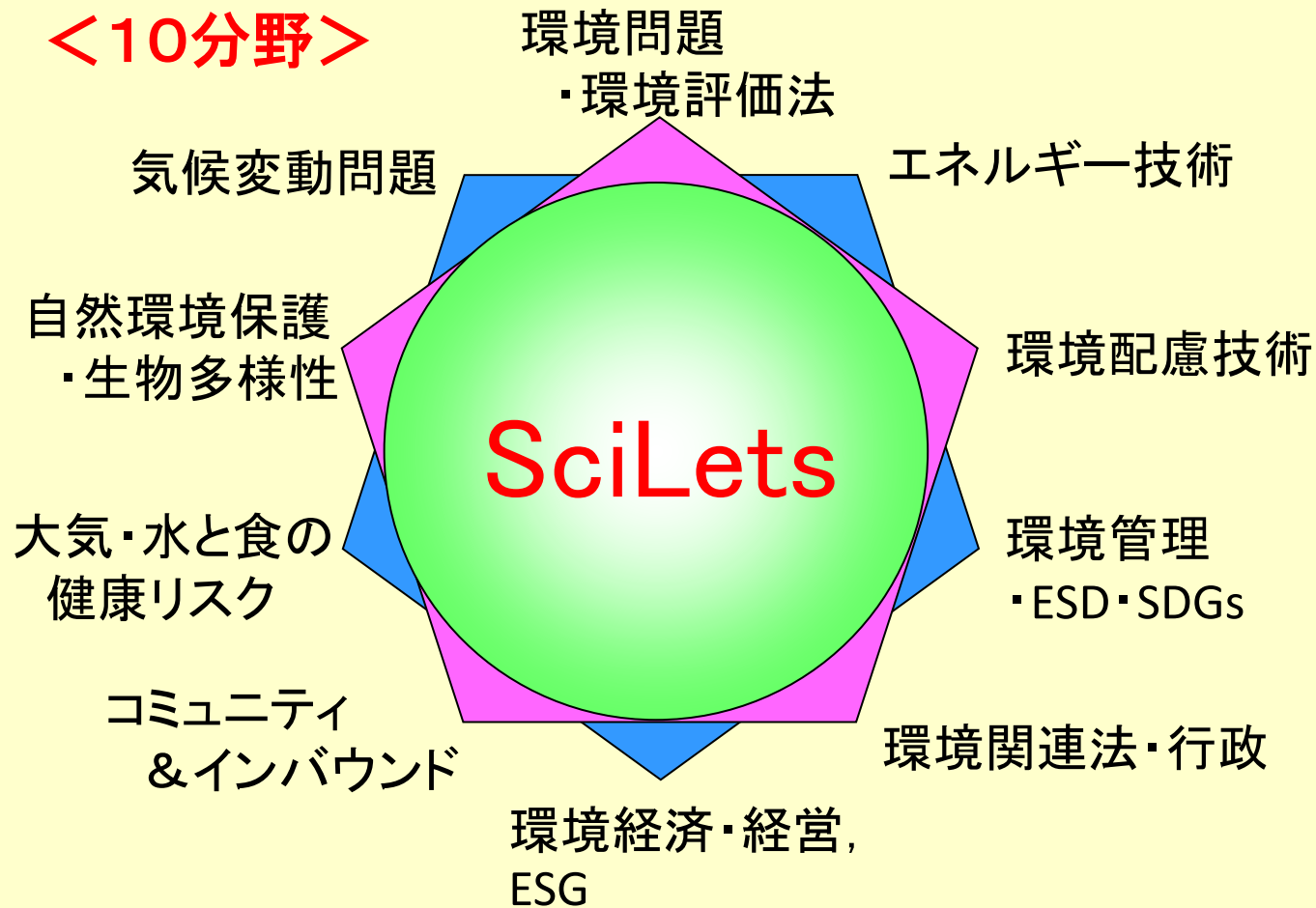
WAON POINT対象活動及びポイント数

活動項目	ポイント数
(1) 学内の清掃活動	
キャンパスクリーンデーに参加	50
(2) 海岸清掃イベントに参加	
町屋海岸清掃	200
(3) 学内のアンケート等への協力	
学内のアンケートへの協力 学内の研修会・講演会の企画及び参加 学内の意見の募集 学内のイベントの企画及び開催準備への参加	上限10,000



<科学的・地域環境人材 (Scientific, Local and Environmental “Talented Staff”) >

多面的な環境教材

<10分野>



特徴

- ・ オンデマンド・ビデオ講義
いつでも・どこでも・何度でも
視聴できる。
- ・ SciLetsは標準90分(45分×2テーマ)講義。
=>アナリスト認証 
+ 環境実践
=>エキスパート認証 

活用例

- ・ 新入社員教育補助教材(企業)
- ・ リカレント教育(企業)
- ・ 情報収集(企業)
- ・ 社内資格の補助教材(企業)
- ・ 職員・社員の環境課題意識向上(自治体・企業)
- ・ 学生授業の補助教材(大学等)

開講科目一覧 (一部抜粋)

※現在, 59科目開講中

10分野:
各分野に
必修科目 × 1科目
選択科目 × 数科目
で構成.

三重大学『科学的地域環境人材』育成事業 開講科目一覧 (MuEnV:分野番号・講義番号)					2026年4月1日	
分野番号	分野	種別/選択	講義番号	講義名	講師	講義内容/ビデオ講義が関連すると考えられるSDGのゴール
01	環境問題・環境評価法	概論	00	環境歴史, 環境配慮	金子 聡 三重大学 大学院工学研究科 教授 丸山 喜樹 三重大学 地域イノベーション学研究所 教授	<p>●前半部 「地球環境問題」に関して、公害から環境問題顕在化の歴史とその意義、さらに地球環境問題として議論されている気候変動問題、酸性化リスク、健康リスク、生物多様性など多面的な問題、並びにその顕在を解説する。</p> <p>●後半部 「環境配慮」という言葉から、何をイメージされるでしょうか。この授業では、まず、「環境」とは何か、「環境負荷」とは何か、「環境配慮」とは何か、について説明します。次に、「水の循環」、「農業と環境」、「廃棄物の現状」や「フードロス」について説明し、最後に、「カーボンニュートラルと環境との関わり」について説明します。</p> <p>前半部: 環境歴史 後半部: 環境配慮</p>
			02	京都議定書からパリ協定へ	佐藤 邦夫 三重大学 名誉教授 (大学院生物資源学研究所)	<p>まず、UNFCCC(国連気候変動枠組条約)で議論されている気候変動問題の議論の源流や、それに続く京都議定書の採択、発効の経緯を詳しく解説し、それと並行してSDGsの源流たるMDGsが関連して採択・発効されたことについても触れる。京都議定書は2008年から2012年の5年間で第一約束期間としたが、その結果について述べる。次に、いわゆる京都後の議論と、それに続くパリ協定の採択、発効の経緯について詳しく解説する。今後確定し、履行されるパリ協定の内容と理解するにあたって、京都議定書の経緯、そしてパリ協定の採択・発効前後の状況を理解しておくことが必要となる。</p> <p>前半部: 京都議定書第一約束期間終了までの経緯 後半部: 京都後、そしてパリ協定へ</p>
			03	LCAとGPPの基礎	奥山 悟也 三重大学 環境アドバイザー 非常勤講師	<p>本科目は、LCA(ライフサイクルアセスメント)とGPP(カーボンフットプリント)の基礎的な考え方を解説する。講義では製品・サービスの環境負荷の見える化として多様な産業分野で取り組みが進むLCAに関して、ISOの国際規格の解釈を踏まえて説明をする。また、地球温暖化への取り組みとして、製品・サービスのGPPについても解説をする。</p> <p>前半部: LCAとGPPの基礎 後半部: カーボンフットプリントについて</p>
			04	Scope1,2,3の算定	奥山 悟也 三重大学 環境アドバイザー 非常勤講師	<p>本科目は、GHGプロトコルで定める組織が温室効果ガスの排出量を算定するための、Scope1, 2, 3の基礎的な考え方を解説する。講義では、地球温暖化の影響と産業別の温室効果ガスの排出現状と、組織で計算するScope1とScope2の算定の方法と、サプライチェーン全体の排出量の計算については事例を踏まえて解説をする。</p> <p>前半部: Scope1,2 後半部: Scope3</p>
			05	カーボンニュートラル(CN)の必要性と重要性及び対応策	清水 里香 元 熊野新道	<p>●前半部 カーボンニュートラルの概念を理解し、その重要性を認識することが求められています。気候変動対策においてカーボンニュートラルが果たす役割を深く理解するためには、IPCC第6次評価報告書に基づく科学的根拠を学ぶことが重要です。本講義では、カーボンニュートラルの必要性を理解し、その達成に向けた具体的な経路と対応策を学習します。特に、カーボンニュートラルがなぜ重要であるかについて深く探り、IPCC報告書を通じて、カーボンニュートラル実現に向けた道筋と必要な対応策を学びます。これらの学びを通じて、持続可能な未来に向けた人類の役割について深く理解し、カーボンニュートラルを実現するための事業を身につけることを目指します。</p> <p>●後半部 気候変動に対する経済界の動向とセクター別の緩和策について、ケーススタディを通じて学びます。まず、気候変動がもたらすリスクに対する金融界の対応を理解し、特にTCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)やサステナブルファイナンスの重要性について解説します。次に、エネルギー、産業、運輸、建物、AFOLU(農業、林業、その他土地利用)、都市など、各セクターごとの緩和策を具体例とともに詳細に学びます。これにより、日本国内外の事例を基に、温室効果ガス削減に向けた基本的な対応策を習得し、カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを深く理解することを目指します。</p> <p>前半部: カーボンニュートラル(CN)の必要性と重要性 後半部: カーボンニュートラル(CN)に対する対応策</p>
			06	カーボンニュートラル(CN)に関するパリ協定	清水 甲斐 元 熊野新道	<p>●前半部 パリ協定の目標や構成、メカニズムを理解し、GPP(気候変動枠組条約締結国会議)の歴史と各国の役割を解説します。まず、パリ協定とその構成を把握し、国連交渉機関やGPPの歴史を通じて、パリ協定がどのように形成され、進化してきたかを学びます。次に、パリ協定の義務的指針であるルールブックや、各国が提出するNDC(国別の温室効果ガス削減目標)についても解説します。また、各国が実施する温室効果ガス排出量の算定手法、報告、審査のプロセスを学び、これらがIPCCサイクルとして政策の改善にどう貢献しているかを学びます。講義を通じて、パリ協定および気候変動に対する国際的な方針動向について包括的な理解を深めます。</p> <p>●後半部 国家によるパリ協定の実施、および地方自治体、企業、市民の対応について、具体例を交えて学びます。まず、気候変動における重大な課題である排出ギャップを理解し、日本を含む主要国のパリ協定実施方針を学習します。地域特性を活かした気候変動対策の重要性や、地方自治体が果たす役割とその対応事例についても詳しく学びます。さらに、企業向け気候変動対策において重要なGHGプロトコル、SBT、Net00といったキーワードを理解し、サプライチェーン全体での排出削減と情報開示の必要性を解説します。これらを通じて、パリ協定の目標達成に向けた多層的な取り組みを理解し、カーボンニュートラルに向けた包括的な視点を養います。</p> <p>前半部: カーボンニュートラル(CN)に向けたパリ協定とその実施 後半部: パリ協定への対応</p>

「科学的地域環境人材」育成事業によるオンライン環境リカレント教育

<Scientific, Local and Environmental “Talented Staff” >

環境関連部署での勤務

企業、行政の環境専門職

循環教育

企業、行政で環境専門職に従事できる人材

企業、行政で環境政策や企画を立案できるエキスパートとなる人材

科学的地域環境人材【エキスパート】認定



オープンバッジ & デジタル認定証書

科学的地域環境人材【アナリスト】認定



オープンバッジ & デジタル認定証書

②

実践活動等の認定

環境研究／共同研究／異分野・異業種交流／その他の環境実践活動

ここからスタートして①を履修することもできる

①

必要科目受講

ビデオ講義(各90分)『地域環境科学分野』の受講

(2) 選択科目(少なくとも4科目) いつでも選択科目を申請して受講可能

(1) 必須科目(10科目) 各分野に各1科目の『概論』を設定

新たな選択科目の受講による環境知識のアップデート

企業・自治体の職員／一般社会人／大学生

■アナリスト認定について

すべてのSDGsゴールが関連



認定条件 環境教育要件：必修科目【地域環境科学概論】10科目+選択科目4科目 計14科目の合格

認定者には、

デジタル認定証書

を発行します



加えて、希望者には、

オープンバッジ

を発行します



さらなる「環境実践」に取り組んで、「**エキスパート認定**」へ



■受講申込みの流れ

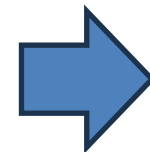


申し込みフォーム



- ・ 手続情報の受理
- ・ 受講料振込

一般受講者： 14,000円／人
団体割引申し込み： 7,000円／人



ポータルサイトにおける
アカウント情報の受理



- ・ ポータルサイトにアクセス
- ・ 受講開始

受講期間制限： 制限なし

シラバス一覧

指定された検索条件に合致したシラバスの一覧を表示します。

- 「検索語」欄に検索する言葉を指定して、表示するシラバスを絞り込むことができます。

[→表紙にもどる](#)

シラバスを検索

検索語の指定

検索条件を指定してください

検索語

* 授業科目名、担当教員名等を指定して検索することができます。条件に該当したシラバスが抽出されます。

科学的地域環境概論

2024年度	【遠隔】科学的地域環境概論Ⅰ		
共通教育・教養 基礎科目	前期	オンデマンドビデオ授業形式で開講します。また、授業担当教員と受講者による意見交換会の機会が設けられます。意見交換会の日時は、開講時に連絡します。	
丸山 直樹 (地域イノベーション学研究科), 金子 聡 (工学研究科), 他			
2024年度	【遠隔】科学的地域環境概論Ⅱ		
共通教育・教養 基礎科目	後期	オンデマンドビデオ授業形式で開講します。また、授業担当教員と受講者による意見交換会の機会が設けられます。意見交換会の日時は、開講時に連絡します。	
丸山 直樹 (地域イノベーション学研究科), 金子 聡 (工学研究科), 他			

[→シラバス執筆の手引き](#) | [→シラバストップ](#)

シラバス一覧

指定された検索条件に合致したシラバスの一覧を表示します。

- 「検索語」欄に検索する言葉を指定して、表示するシラバスを絞り込むことができます。

[→表紙にもどる](#)

シラバスを検索

検索語の指定

検索条件を指定してください

検索語

* 授業科目名、担当教員名等を指定して検索することができます。条件に該当したシラバスが抽出されます。

環境学A

2024年度	環境学A		
共通教育・教養 基礎科目	後期 集中	1~8時限	
間島 順哉(非常勤講師)			

[→シラバス執筆の手引き](#) | [→シラバストップ](#)

